

眼科検査のあれこれ

～眼科コラム～

聖隷沼津病院 眼科検査室

眼球運動検査について

私たちは普段何かを見る際、何気なく眼を動かして見たい物や場所を見ています。

眼にはいくつかの筋肉があり、筋肉がそれぞれ正常に働くことで、見たい物や場所を正確に見ることが出来ています。

その眼の筋肉（外眼筋）の動きを調べる検査が今回の眼球運動検査になります。

眼の筋肉について

眼には、動かすための筋肉「外眼筋」が付いています。

外眼筋は、脳神経の伝達によりそれぞれの作用方向へと眼を動かします。

外眼筋には、上直筋、下直筋、上斜筋、下斜筋、内直筋、外直筋の6つがあり

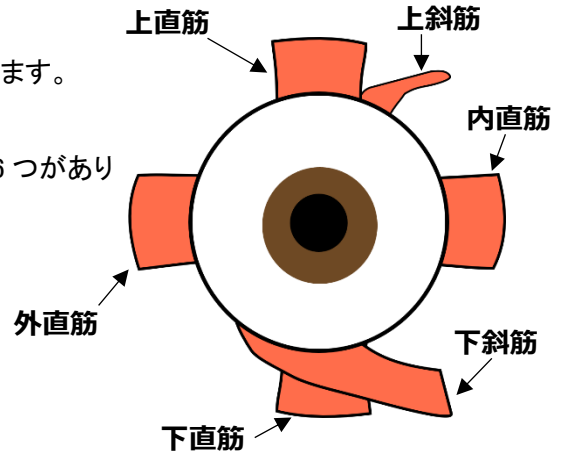
上を向くときには、両眼の上直筋と下斜筋

下を向くときには、両眼の下直筋と上斜筋

右を向くときには、右眼の外直筋と左眼の内直筋

左を向くときには、右眼の内直筋と左眼の外直筋

が同じ力で働くことによって、ものを1つに見ることができています。



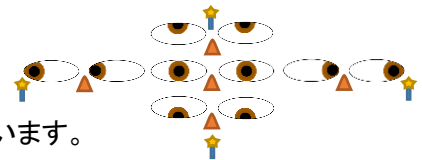
眼球運動検査について

眼球運動検査では、見る方向によって動きに左右差は無いかな・眼球運動に異常はないか、眼振がないかななどを調べています。

むき運動（両眼が同じ方向を向いた時に眼の動きに異常や左右差はないか）

ひき運動（片眼ずつで眼を動かしたときに異常が無いかな）

よせ運動（眼を内側に寄せることができるかな）の3つを観察して評価を行います。



むき運動を確認し、正常範囲に達していない場合や左右で動きに差がある場合は、ひき運動を行い、確認します。

眼球運動で異常がみられる場合は、左右で眼の位置が異なっていたり（斜視）、

左右で眼球運動の動きに差がある場合には、上や横を見た際にモノが二重に見える場合があります。

さらに詳しい検査

むき運動・ひき運動による眼球運動検査にて、眼球運動障害がある場合には、

Hess チャートという器械を用いてさらに詳しい検査を行い、

どの外眼筋に異常があるかを特定します。

